



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
 コード番号 7090 URL https://ligua.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 半田 晴彦 TEL 06 (7777) 0159
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,740	△21.7	△171	—	△201	—	△203	—
2025年3月期第3四半期	2,223	△15.0	△74	—	△99	—	△137	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △203百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △137百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△136.67	—
2025年3月期第3四半期	△92.24	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,625	122	4.7
2025年3月期	3,142	319	10.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 122百万円 2025年3月期 319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	△14.7	△141	—	△180	—	△186	—	△123.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2026年3月期の連結業績予想については、2025年11月13日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年2月10日）公表いたしました「2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) FPデザイン株式会社、 除外 1社 (社名) 株式会社FPデザイン

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	1,511,800株	2025年3月期	1,511,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	21,051株	2025年3月期	21,718株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	1,489,335株	2025年3月期3Q	1,485,574株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2026年1月5日を払込期日として、第三者割当増資による新株式として普通株式100,000株を発行しております。2026年3月期の通期業績予想に記載の1株当たり当期純利益は、上記第三者割当増資による株式数の増加を前提とした再計算をしております。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界経済は長期化するロシア・ウクライナ情勢、中国の景気後退及び米国トランプ政権による様々な政策変更などの影響を受け、経済の先行きに係る不透明な状況が続いており、わが国経済に与える影響は非常に不透明な状況であります。

このような状況の中、当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーパスのもと、「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生における2つの不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかね」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しており、誰もが心から豊かで前向きになる“WellnessLife”が溢れる社会の実現を目指しております。

「からだ」を担うウェルネス事業では、当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」をはじめとしたIFMC. 製品を使用した新メニュー（血流改善プログラム等）の導入に積極的に取り組んでまいりました。

「おかね」を担うファイナンシャル事業では、保険代理店、金融商品仲介業（IFA）、財務コンサルティング等の経営支援を軸とするゴールベース・アプローチに基づいた総合金融コンサルティングサービスの提供を行ってまいりました。なお、2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業(IFA)等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、金融商品仲介業(IFA)につきましては、2025年4月から7月までの営業展開となっております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高1,740,778千円（前年同期比21.7%減）、営業損失171,915千円（前年同期は74,827千円の営業損失）、経常損失201,587千円（前年同期は99,436千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失203,550千円（前年同期は137,030千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<ウェルネス事業>

ソフトウェアは、接骨院向けシステムの販売を行っております。前年に「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」の事業譲渡を行った影響を受け、売上高は168,972千円（前年同期比14.0%減）となりました。

機材・消耗品は、接骨院での自費施術メニューの拡大をする為の機材及び機材に付属する消耗品を販売しております。主要機材の販売が好調に推移した結果、売上高は208,662千円（前年同期比1.0%増）となりました。

コンサルティングは、接骨院の幹部または幹部候補者向けの研修及び新規利用者の獲得を目的としたWebコンサルティングを行っております。コンサルティング契約の増加及びM&A仲介手数料売上が発生したこと等により、売上高は311,171千円（前年同期比11.1%増）となりました。

請求代行は、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開しております。療養費早期支払サービスの貸付残高が減少しましたが、新規顧客開拓により会員数が増加したことにより、売上高は300,480千円（前年同期比4.6%増）となりました。

健康サポートでは、IFMC. 技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」

「SLEEPINSTANT」を販売しております。IFMC. 販売の支援等サポート体制の拡充を図ったこともあり、IFMC. 導入院数は増加しました。しかしながら、導入院からの追加受注が減少した結果、売上高は297,148千円（前年同期比41.0%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,286,435千円（前年同期比12.7%減）、営業損失は83,665千円（前年同期は41,819千円の営業利益）となりました。

<ファイナンシャル事業>

保険代理店は、ウェルネス事業を展開する当社グループ及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の募集活動を行いました。その結果、売上高は349,683千円（前年同期比1.5%増）となりました。

金融商品仲介業（IFA）は、2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業(IFA)等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、2025年4月から7月までの営業展開となっております。その結果、売上高は58,051千円（前年同期比81.3%減）となりました。

経営支援・手数料は、財務コンサルティングを行いました。前年に発生した紹介手数料売上が減少した結果、売上高は46,607千円（前年同期比50.2%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は454,343千円（前年同期比39.3%減）、営業損失は88,250千円（前年同期は116,646千円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2,625,507千円となり、前連結会計年度末と比べ516,691千円の減少となりました。

流動資産は2,307,286千円となり、前連結会計年度末と比べ427,331千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が145,580千円、売掛金が71,263千円、営業貸付金が26,122千円、商品が69,034千円減少したことによるものであります。

固定資産は318,220千円となり、前連結会計年度末と比べ89,360千円の減少となりました。これは主に、ソフトウェアが11,386千円、のれんが12,762千円、繰延税金資産が35,460千円、投資その他の資産のその他に含まれている長期前払費用が12,626千円減少したことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,502,556千円となり、前連結会計年度末と比べ319,834千円の減少となりました。

流動負債は1,927,847千円となり、前連結会計年度末と比べ119,279千円の減少となりました。これは主に、預り金が143,550千円増加したものの、短期借入金が55,262千円、1年内返済予定の長期借入金が106,105千円、未払費用が70,394千円、未払消費税等が30,047千円減少したことによるものであります。

固定負債は574,708千円となり、前連結会計年度末と比べ200,555千円の減少となりました。これは主に、資産除去債務が6,201千円増加したものの、長期借入金が205,598千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は122,951千円となり、前連結会計年度末と比べ196,856千円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を203,550千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表いたしました連結業績予想のレンジ形式から修正を行っております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,352,070	1,206,490
売掛金	272,856	201,593
営業貸付金	372,198	346,075
商品	258,853	189,819
原材料及び貯蔵品	30,367	30,301
リース債権及びリース投資資産	278,231	254,667
その他	175,348	83,730
貸倒引当金	△5,308	△5,391
流動資産合計	2,734,618	2,307,286
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	114,233	110,243
減価償却累計額	△49,477	△45,336
建物附属設備(純額)	64,756	64,906
車両運搬具	14,716	14,014
減価償却累計額	△7,843	△9,718
車両運搬具(純額)	6,872	4,295
工具、器具及び備品	144,066	124,083
減価償却累計額	△109,852	△96,241
工具、器具及び備品(純額)	34,214	27,842
建設仮勘定	3,258	—
有形固定資産合計	109,101	97,044
無形固定資産		
ソフトウェア	40,772	29,386
ソフトウェア仮勘定	300	—
のれん	106,633	93,871
その他	941	696
無形固定資産合計	148,647	123,954
投資その他の資産		
繰延税金資産	98,815	63,354
その他	54,615	38,195
貸倒引当金	△3,599	△4,328
投資その他の資産合計	149,831	97,221
固定資産合計	407,580	318,220
資産合計	3,142,199	2,625,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,365	37,529
短期借入金	905,764	850,502
1年内返済予定の長期借入金	443,799	337,694
未払金	94,815	81,244
未払費用	144,445	74,050
未払法人税等	22,822	8,675
未払消費税等	47,214	17,167
契約負債	24,771	30,766
預り金	332,942	476,492
賞与引当金	16,489	7,891
その他	7,695	5,833
流動負債合計	2,047,126	1,927,847
固定負債		
長期借入金	752,155	546,557
資産除去債務	21,182	27,383
繰延税金負債	1,926	767
固定負債合計	775,264	574,708
負債合計	2,822,391	2,502,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,265	551,265
資本剰余金	476,085	478,374
利益剰余金	△687,951	△891,502
自己株式	△20,002	△15,596
株主資本合計	319,397	122,540
新株予約権	411	411
純資産合計	319,808	122,951
負債純資産合計	3,142,199	2,625,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,223,051	1,740,778
売上原価	921,854	722,948
売上総利益	1,301,196	1,017,830
販売費及び一般管理費	1,376,024	1,189,745
営業損失(△)	△74,827	△171,915
営業外収益		
受取利息及び配当金	294	1,035
受取保険金	436	—
受取手数料	—	1,150
その他	30	756
営業外収益合計	761	2,943
営業外費用		
支払利息	20,780	22,303
株式報酬費用消滅損	4,512	9,964
その他	77	348
営業外費用合計	25,369	32,615
経常損失(△)	△99,436	△201,587
特別利益		
事業譲渡益	13,726	—
固定資産売却益	—	159
子会社株式売却益	—	59,460
特別利益合計	13,726	59,619
特別損失		
固定資産除却損	0	56
事務所移転費用	—	3,263
特別損失合計	0	3,320
税金等調整前四半期純損失(△)	△85,709	△145,288
法人税、住民税及び事業税	27,866	23,960
法人税等調整額	23,453	34,302
法人税等合計	51,320	58,262
四半期純損失(△)	△137,030	△203,550
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137,030	△203,550

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△137,030	△203,550
四半期包括利益	△137,030	△203,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137,030	△203,550
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	183,367	—	183,367	183,367
機材・消耗品	157,598	—	157,598	157,598
コンサルティング	280,178	—	280,178	280,178
請求代行	287,215	—	287,215	287,215
健康サポート	503,558	—	503,558	503,558
保険代理店	—	344,438	344,438	344,438
金融商品仲介業 (IFA)	—	310,960	310,960	310,960
経営支援・手数料	—	93,531	93,531	93,531
顧客との契約から生じる収益	1,411,918	748,930	2,160,848	2,160,848
その他の収益 (注) 1	62,203	—	62,203	62,203
外部顧客への売上高	1,474,121	748,930	2,223,051	2,223,051
計	1,474,121	748,930	2,223,051	2,223,051
セグメント利益又はセグメント損失(△)	41,819	△116,646	△74,827	△74,827

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	154,525	—	154,525	154,525
機材・消耗品	154,282	—	154,282	154,282
コンサルティング	311,171	—	311,171	311,171
請求代行	300,480	—	300,480	300,480
健康サポート	297,148	—	297,148	297,148
保険代理店	—	349,683	349,683	349,683
金融商品仲介業 (IFA)	—	58,051	58,051	58,051
経営支援・手数料	—	46,607	46,607	46,607
顧客との契約から生じる収益	1,217,608	454,343	1,671,952	1,671,952
その他の収益 (注) 1	68,826	—	68,826	68,826
外部顧客への売上高	1,286,435	454,343	1,740,778	1,740,778
計	1,286,435	454,343	1,740,778	1,740,778
セグメント損失(△)	△83,665	△88,250	△171,915	△171,915

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業(IFA)等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、金融商品仲介業(IFA)は2025年4月から7月までの営業展開となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	40,155千円	31,035千円
のれんの償却額	12,762	12,762

(重要な後発事象)

(第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2025年12月18日開催の取締役会において、株式会社TBMを割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を行うことについて決議し、2026年1月5日に払込が完了いたしました。

(1) 払込期日	2026年1月5日
(2) 発行する株式の種類及び数	普通株式 100,000株
(3) 発行価額	1株につき914円
(4) 発行価額の総額	91,400,000円
(5) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額 45,700,000円 増加する資本準備金の額 45,700,000円
(6) 募集又は割当方法	第三者割当増資の方法によります。
(7) 割当先	株式会社TBM
(8) 資金の用途	割当先の株式会社TBMとは、IFMC.を利用した商品開発・販売での協業をすすめており、その協業体制の拡充が当社としても必要となることから、他社製品の企画への対応、製造・品質保証に関わる組織・人材等の体制構築費用に充当します。具体的には、製造・品質保証に必要となる場所や機器に対する設備投資、当該人材の外部からの新規採用にともなう採用費や人件費へ充当することを予定しています。